

令和6年度第2回三重県観光誘客推進会議 概要

1 開催日時：令和6年8月28日（水）10時00分から10時10分まで

2 議事概要：以下のとおり

（生川観光部長）

令和6年度第2回三重県観光誘客推進会議を開催する。事務局から説明させていただく。

※資料1～資料3について、事務局（福島観光部副部長・菅生観光総務課長）から説明。

（小見山政策企画部長）

各部局が様々な方面から取組を進める旨ご報告があったところであるが、政策企画部では、プロモーションや情報発信について特に戦略的に展開できるように積極的にサポートやコーディネートをしていきたい。各部局とも連携しながら進めていくのでよろしくお願ひしたい。

（松下雇用経済部長）

次期遷宮を絶好の機会と捉え、三重テラスや来年4月から開催される万博の舞台をフル活用して三重の魅力を積極的にPRしていきたいと思っているので、関係部局のご協力をお願いしたい。

（一見知事）

- ・本県は式年遷宮があるという点で非常に恵まれている。既に庁内ワーキングを発足し、次期式年遷宮に向けて県がやるべきことをまとめているところ。船で例えると、船の形を作ったところである。船は船体を作っただけでは進まないの、エンジンと羅針盤が必要。そのエンジンと羅針盤になってもらうため、「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」を作った。
- ・「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」のメンバーは兼任という形になるので、担当者は二足の草鞋で大変だと思うが、三重県の発展のために必要な業務なので、しっかりやっていただきたい。
- ・三重県全体の振興につながるよう、観光も含め、式年遷宮という大きな行事を契機とし、三重県全体が発展するように考えていただきたい。リニアの効果は全県に波及させる必要があるが、同様に、式年遷宮の効果も全県に及ぼさなければならない。
- ・特に、現在三重県のインバウンドは非常に寂しい状態。20年後に向けて、我々が今、責任を持ってしっかりやらないと、インバウンドは増えてこない。世界全体の輸出収入の合計では、1番目のエネルギー、2番目の化学に続き、3番目が観光である。日本は、総合計3番目に位置している観光に、しばらく前から力を

入れ始めた。三重県もインバウンドに目を向け、力を入れていかなければならぬ状態になっている。しっかりと頑張っていきましょう。式年遷宮も一つの機会としていけたらいいと思っている。

- ・インバウンドをはじめとした三重県全体の振興、庁内ワーキングをしっかりとやっていただきたいという話、「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」はエンジンと羅針盤としてしっかり活躍していただきたい。その3点である。